

# 静岡県立美術館 古代アンデス文明展 プレスリリース

会期：2019年5月18日（土）～7月15日（月・祝）



## みどころ

1. **アンデス文明**を通覧する壮大な構成
2. マチュピチュやナスカの地上絵など**世界遺産**にも関わる展示
3. **ミイラ**や黄金製品をはじめとした貴重な資料が多数
4. **アルパカ**撮影会や民族楽器による**コンサート**など多彩なイベント

問い合わせ先

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

学芸課 054-263-5857 浦澤（うらさわ）

総務課 054-263-5755 金原（きんばら）

Eメール [webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp](mailto:webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp)

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53-2

# 主な出品作品画像



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

- ①象嵌のマスク（前期モチェ文化） ペルー文化省・国立博物館
- ②カラササヤで出土した金の儀式用装身具（ティワナク文化） 先コロンブス期貴金属博物館（ポリビア ラパス市）
- ③細かい細工がほどこされた金の装飾品（後期シカン文化）ペルー文化省・国立ブリューニング博物館
- ④土製のリヤマ像（ワリ文化）ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
- ⑤縄をかけられたラクダ科動物（リヤマ？）が描かれた土製の皿（ナスカ文化）ディダクティコ・アントニーニ博物館
- ⑥パリティ島で出土したカボチャ状の胴を持つ男性の象形土器（ティワナク文化）国立考古学博物館（ポリビア）
- ⑦ネコ科動物をかたどった多彩式土製香炉（ティワナク文化） 先コロンブス期貴金属博物館（ポリビア ラパス市）
- ⑧少女のミイラとその副葬品（チリバヤ文化） ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館
- ⑨少女のミイラ（チリバヤ文化） ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館
- ⑩男児のミイラとその副葬品（チリバヤ文化） ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館

※画像のご利用を希望されるプレスの方は、利用目的と作品番号を明記の上、下記までご連絡ください。

[webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp](mailto:webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp)

古代アンデス文明展 担当：浦澤、金原

# 基本情報

休館日	毎週月曜日 ただし7月15日(月・祝)は開館
開館時間	午前10時～午後5時30分(展示室への入室は午後5時まで)
夜間開館	7月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)は午後7時まで開館 ※展示室への入室は午後6時30分まで
観覧料	一般1,400円(1,200円) 高校生・大学生・70歳以上 700円(600円) 中学生以下無料 ※( )内は前売り及び20名以上の団体料金。 ※収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

## 展覧会紹介

南米大陸、現在のペルーとボリビアを中心とした地域で、16世紀まで展開した、多種多様な文化を総称して、古代アンデス文明と呼びます。巨大な地上絵を残したナスカ文化(紀元前200年頃～後650年頃)や、壮麗なマチュピチュを築き上げたインカ帝国(15世紀前半～1572年)が、とりわけ著名です。これらの遺跡が物語るように、独自の世界観や宗教、そして高度に発達した技術を持っていたことでも知られ、現代でも多くの人々の関心を集めています。

本展覧会では、ナスカ、モチェ、ティワナク、シカン、インカなど代表的な9つの文化から、厳選された約200点の資料を展示し、古代アンデス文明の全体像を明らかにします。人や動物を象ったユニークな土器、まばゆい黄金製品、色鮮やかな織物、そして独特な死生観を物語るミイラなどを通じ各文化の精華と悠久の歴史をご堪能ください。

主催 静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送

特別協賛 清水銀行

後援 ペルー大使館、ボリビア大使館

協力 ペルー文化省、ボリビア文化観光省、NTTドコモ、クントウル・ワシ調査団、国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館

企画制作 国立科学博物館、TBSテレビ

チケット販売所 前売券は5月17日(金)まで販売

[前売・当日券](静岡県立美術館では4月上旬より販売)

チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:769-617)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:41433)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館

[前売券のみ](4月上旬より販売)

大和文庫、戸田書店(静岡本店・江尻台店)、谷島屋(パルシェ店・マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

# 会期中イベント

清水銀行 Presents

## 特別講演会「古代アンデス文明 その誕生から滅亡まで」

日時 5月18日(土) 午後2時～3時

会場 講堂

講師 篠田謙一氏(国立科学博物館副館長 兼 人類研究部長)

定員 250名

申込方法は下記ページをご参照ください。

<http://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/program/detail/268>



## 館長美術講座「ミュージアムでヒトを展示することについて」

日時 6月9日(日) 午後2時～3時30分

会場 講座室

講師 木下直之(当館館長)

申込不要



## スペシャルコンサート

アンデス発祥の笛、サンポーニャとケーナの音色を、日本における第一人者・瀬木貴将氏による演奏でお楽しみください。

日時 6月16日(日) 午後2時～

会場 講堂

出演 瀬木貴将氏(サンポーニャ&ケーナ)、鈴木孝彦氏(ピアノ)

定員 250名(先着順)

申込不要



## もふもふ♡アルパカが美術館にやってくる！

本物のアルパカがエントランス前に登場！柵の外から、自由にアルパカをご覧いただけます。また4回開催予定の「ふれあい撮影会」ではアルパカと並んで写真を撮ることができます。

日時 5月25日(土) 午前10時～午後4時

ふれあい撮影会(各回定員30名、要観覧券・整理券)

午前11時、午後1時、2時、3時

観覧券をお持ちの方を対象に、

午前11時と午後1時の回の整理券を午前10時より、

午後2時と3時の回の整理券を午後1時より配布する予定です。

会場 当館エントランス前



### わくわくアトリエ「アルパカの毛で作るアルパカブローチ」

アルパカの毛を使ってレリーフ状のブローチを作ります。制作前に本物のアルパカを見学する予定です。

日時 5月25日(土) 午前10時～午後12時30分

会場 実技室ほか

講師 大村智子氏(羊毛フェルト作家)

定員 20名程度

対象 小学生～大人まで(小学3年生以下は保護者同伴)

要事前申込

※申込方法は4月下旬より、当館ウェブサイトやチラシなどでご案内する予定です。



### 実技講座「コチニール×藍 一絞り染めの麻ストール」

アンデス発祥のコチニールと日本の藍を使い、麻布に絞り染めを施し、ストールを作ります。

日時 6月9日(日)、23日(日) ※1日完結の講座を2回 各日午前10時～午後4時30分

会場 実技室

講師 稲垣有里氏(染織家)

定員 各回12名

対象 中学生以上の個人

要事前申込

※申込方法は5月上旬より、当館ウェブサイトやチラシなどでご案内する予定です。

### 学芸員によるフロアレクチャー

当館学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。

日時 6月2日(日)、6月19日(水)、6月22日(土) 午後2時～(各回40分程度)

集合場所 展示室入口ホール

申込不要、要観覧券

### スライドトーク「アンデスに行ったんです。」

現在のペルーとボリビアの様子を当館学芸員がリポート。

日時 6月8日(土) 午後2時～3時

会場 講座室

申込不要



### 古代アンデス文明展限定メニュー「チキンのイエローペッパー煮」

マイルドな辛味が特徴のアンデス原産イエローペッパーと生クリームで若鶏を煮込みました。辛味は少ないのにスパイシーな風味がライスに良く合います。

場所：館内レストラン「ロダン・テラス」

価格：1750円(サラダ、スープ、ライス付き)

営業時間：午前11時～午後5時(ラストオーダーは4時)

問い合わせ先：054-267-7888

